４　高校生事故

（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令 和 ４ 年	37		38
前　年　比	1		5

（２）状態別

区　　分	当 事 者
四　輪　同　乗	9
自　転　車	29
計	38

（３）自転車違反別

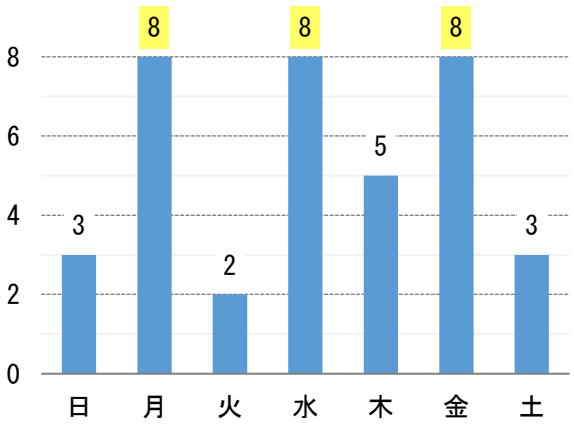
	区　分	当事者
自転車	一　時　不　停　止	1
	安　全　不　確　認	5
	前　方　不　注　視	2
	交 差 点 安 全 進 行	9
	動　静　不　注　視	1
	右　側　通　行	1
	そ　の　他	3
	違　反　な　し	8
計		30

※(3) 自転車違反別は自転車事故の当事者数を表しているため発生件数とは一致しない。

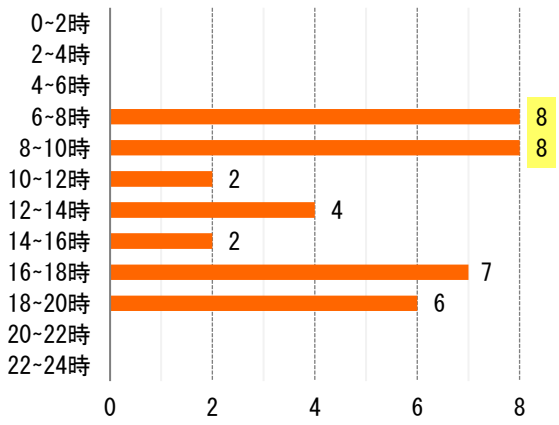
（４）月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数	1	1	2	2	1	3	6	1	4	7	3	6	37
死　者													
負 傷 者	1	1	2	2	1	3	7	1	4	7	2	7	38

（５）曜日別［件数］



（６）時間別［件数］



（７）学年別

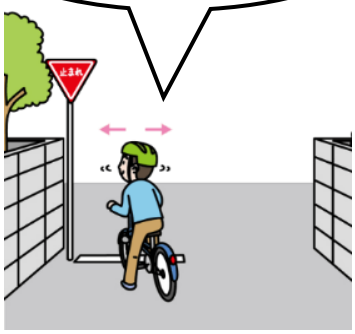
区　分	負 傷 者
１年生	9
２年生	16
３年生	13
計	38

（８）事故類型別

	区　　分	件　数
人対車両	対背面通行中	1
車両	追　　突	7
	出 会 い 頭	20
	右 左 折 時	7
	そ　の　他	1
車　両　単　独		1
計		37

もしもの事故から命を守るため
ヘルメットを着用しよう！

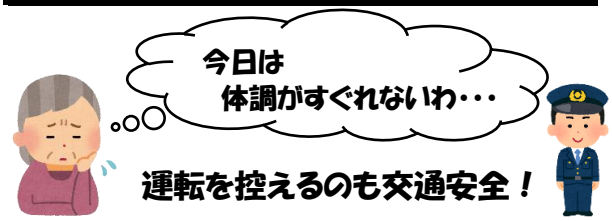
一時停止場所 や
見通しの悪い交差点 では、
止まって安全確認 をしよう！



5　高齢者事故

（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令　和　４　年	193	3	112
前　　年　　比	−7		5



高齢者交通安全３か条

一　私たちは、若者の模範となるよう、交通ルールを守ります。

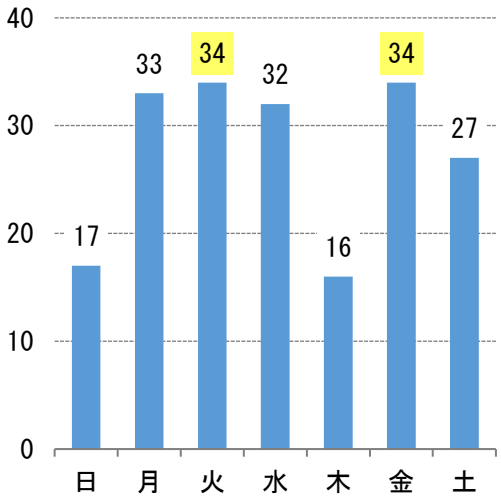
一　私たちは、夕暮れ時から外出する時は、反射材を身につけます。

一　私たちは、交通事故にあわないよう、ゆとりをもって行動します。

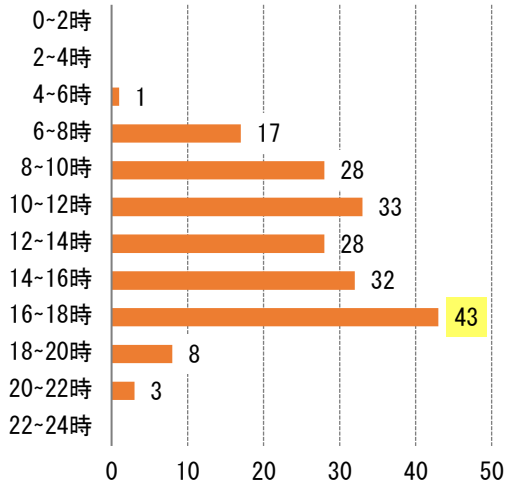
（２）月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数	10	11	18	17	18	16	16	17	17	20	18	15	193
死　者				2			1						3
負傷者	4	5	14	11	11	7	10	9	11	9	10	11	112

（３）曜日別［件数］



（４）時間帯別［件数］



（５）事故類型別

区　分		件　数
人対車両	横断中　横断歩道	6
	横断中　その他	4
	その他	3
車両	正面衝突	4
	追突	56
	出会い頭	85
	追越等	4
	右左折時	15
	その他	12
車両単独		4
計		193

令和4年 死亡事故の人的要因（警察庁）

運転者	ハンドルの操作不適	ブレーキとアクセルの踏み間違い
７５歳未満	8.1%	1.1%
７５歳以上	14.6%	7.7%

運転が不安・・・家族も心配している・・・
でもまだ車が必要だし・・・

そんな方に 新たな選択肢！

「サポートカー限定免許」

サポートカー限定免許って？

高齢運転者を中心に、交通事故防止対策として先進安全技術を搭載した「サポートカー」に限り運転することができる運転免許です

搭載されている機能には限界があります
機能を過信することなく、安全運転に努めましょう

段階的に運転を控え、免許の卒業も考えていきましょう

６　歩行者事故

思いやり
ありがとう

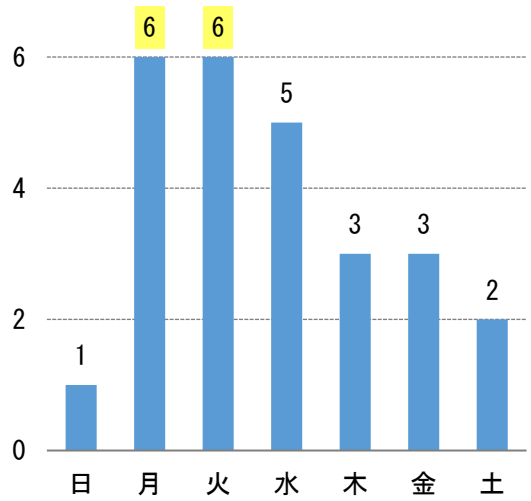
（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令 和 ４ 年	26		26
前　年　比	−6	−2	−4

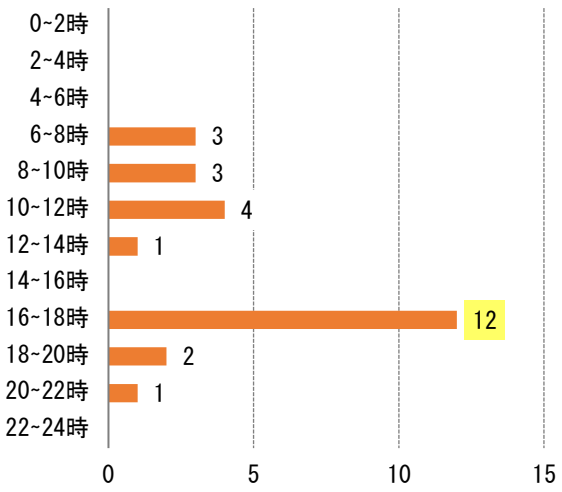
（２）月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数	3	2	3	2	2	2			1	4	5	2	26
死　者													
負 傷 者	3	3	2	2	2	2			1	4	5	2	26

（３）曜日別［件数］



（４）時間別［件数］



（５）年齢層別

区　分	負傷者
幼　園　児	
小　学　生	3
中　学　生	
高　校　生	
２ ０ 歳 未 満	
２ ０ ～ ２ ９ 歳	3
３ ０ ～ ３ ９ 歳	1
４ ０ ～ ４ ９ 歳	6
５ ０ ～ ５ ９ 歳	4
６ ０ ～ ６ ４ 歳	
６ ５ 歳 以 上	9
計	26

横断歩道を渡ろうとする歩行者がいたら必ず止まる

ひし形の路面標示の
先には横断歩道が
あるよ！

（６）事故類型別

	区　分		件　数
人対車両	対 背 面 通 行 中		6
	横断中	横 断 歩 道	9
		そ の 他	7
	そ の 他		4
計			26

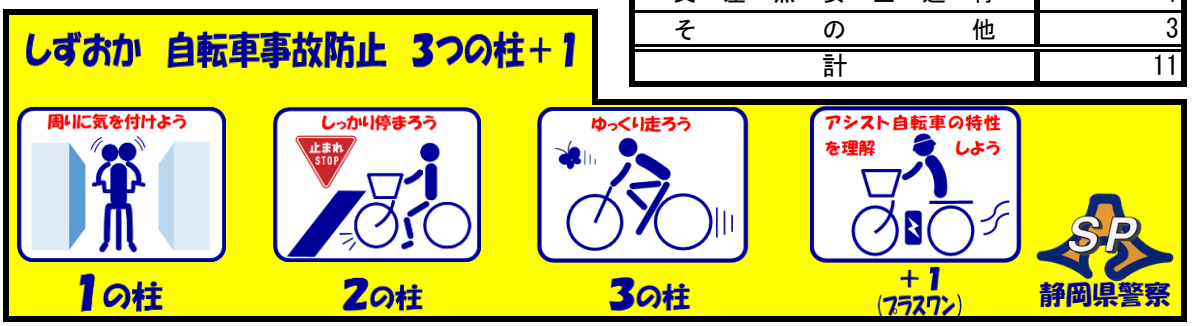
7　自転車事故

（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令 和 ４ 年	59	1	58
前　年　比	-26	1	-25

（２）第一当事者自転車の違反別

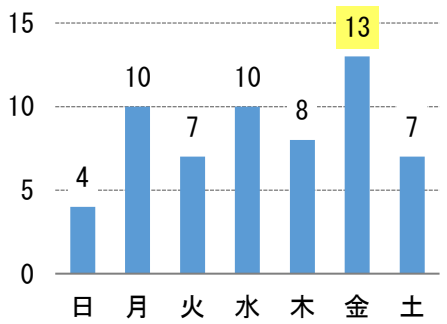
区　分	当 事 者
一 時 不 停 止 等	5
脇 見 運 転	2
交 差 点 安 全 進 行	1
そ の 他	3
計	11



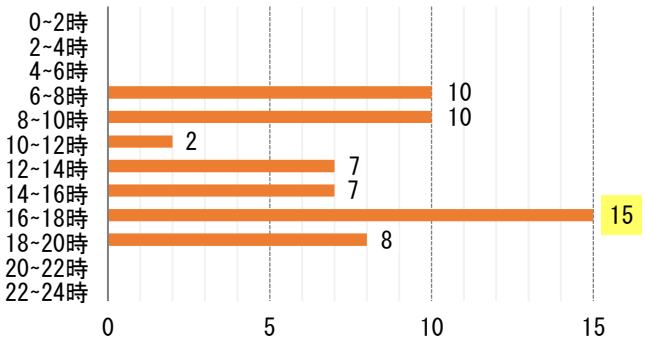
（３）月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数	1	2	4	4	4	6	10		4	11	6	7	59
死　者							1						1
負 傷 者	1	2	4	4	4	7	8		4	11	5	8	58

（４）曜日別［件数］



（５）時間別［件数］

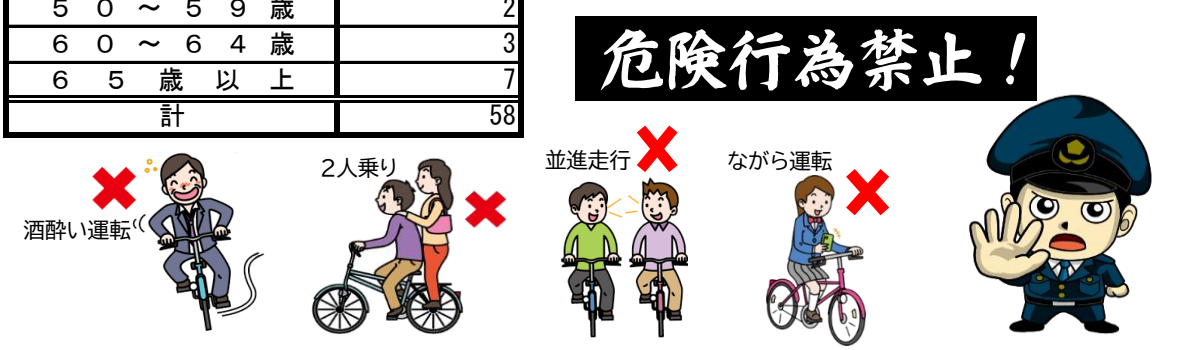


（６）年齢層別

区　分	負傷者
幼　園　児	
小　学　生	1
中　学　生	4
高　校　生	29
２ ０ 歳 未 満	2
２ ０ ～ ２ ９ 歳	2
３ ０ ～ ３ ９ 歳	2
４ ０ ～ ４ ９ 歳	6
５ ０ ～ ５ ９ 歳	2
６ ０ ～ ６ ４ 歳	3
６ ５ 歳 以 上	7
計	58

（７）事故類型別

	区　分	件　数
車人両対	対 背 面 通 行 中	1
車両	正 面 衝 突	1
車両	追　突	3
車両	出 会 い 頭	34
車両	右 左 折 時	17
車両	そ の 他	2
車 両 単 独		1
計		59



8　二輪車（原付を含む）事故

（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令 和 ４ 年	53		56
前　年　比	−3		−7

渋滞車両の脇を
すり抜ける行為は危険！
やめましょう！

（２）違反別

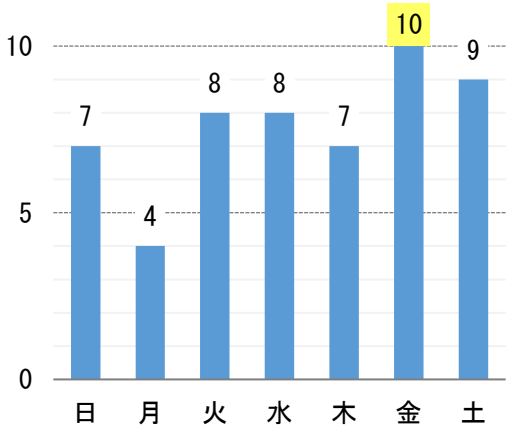
区　　分	当 事 者
信　号　無　視	3
横　断　等　禁　止	1
優 先 通 行 妨 害 等	3
交 差 点 安 全 進 行	14
指定場所一時不停止等	2
安 全 運 転 義 務 違 反	30
計	53

※ (2)違反別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない。

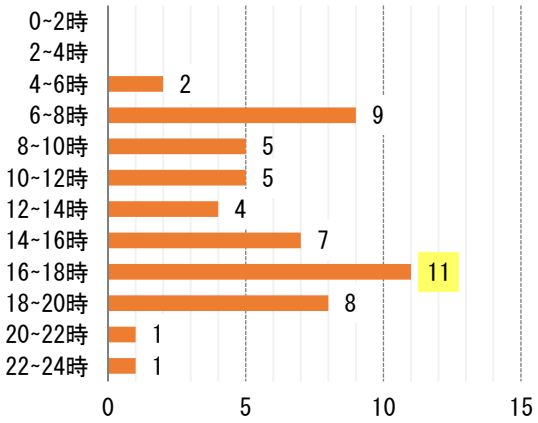
（３）月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数	4		4	5	1	9	4	3	6	3	12	2	53
死　者													
負 傷 者	4		5	5	1	9	5	3	6	3	13	2	56

（４）曜日別［件数］



（５）時間別［件数］



交差点では
周囲の車両の
動きに注意！

オートバイは車体が小さく、
遠くにいるように見られがちです！

ご自身の大切な命を
守るのに効果的な
エアバックジャケットや
プロテクターを
着用しましょう！

（６）年齢層別

区　分	死者	負傷者
２　０　歳　未　満		4
２　０　～　２　９　歳		5
３　０　～　３　９　歳		9
４　０　～　４　９　歳		12
５　０　～　５　９　歳		14
６　０　～　６　４　歳		1
６　５　歳　以　上		11
計		56

（７）事故類型別

区　分		件　数
車人両対	横断中　その他	1
車両	追　突	9
	出　会　い　頭	21
	右　左　折　時	12
	その他	6
車　両　単　独		4
計		53

※横断中その他は横断歩道以外を横断中の事故である。

９　若者起因事故

（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令和４年	101		130
前　年　比	-41		-50

初心を忘れずに!!

（２）違反別

区　分	当事者
信　号　無　視	4
優先通行妨害等	2
指定場所一時不停止等	10
歩行者妨害等	1
安全運転義務違反	72
そ　の　他	12
計	101

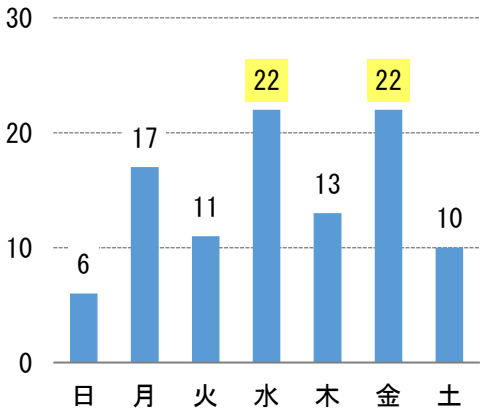
※ (2)違反別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない。

（３）月別

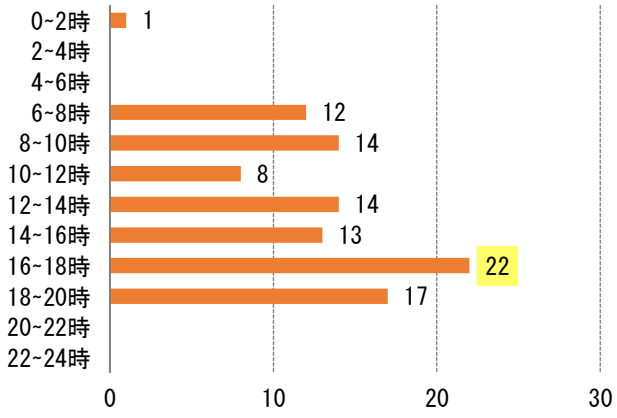
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数	5	4	7	12	5	7	14	8	11	9	8	11	101
死　者													
負傷者	6	8	9	14	5	9	17	10	14	12	9	17	130

「～だろう」と漫然とした運転ではなく
「～かもしれない」と危険を予測しながら
運転しましょう!

（４）曜日別［件数］



（５）時間別［件数］



（６）年齢層別

区　分	第一当事者
１６～１９歳	16
２０～２４歳	57
２５～２９歳	28
計	101

**基本を徹底した
安全運転を
続けましょう!!**

（７）事故類型別

	区　分		件　数
人対車両	対背面通行中		1
	横断中	横断歩道	1
		その他	1
車両	正面衝突		3
	追突		52
	出会い頭		33
	追越等		2
	右左折時		4
	その他		2
車両単独			2
計			101

１０　飲酒運転事故（物件事故を含む）

（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令 和 ４ 年	4		2
前　年　比	−1		2

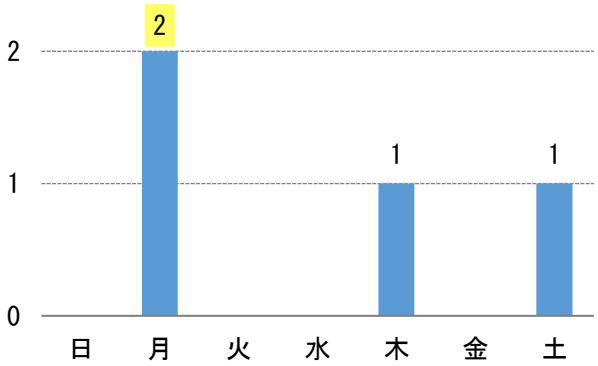
（２）違反別

区　分	当事者数
追　越　違　反	1
前　方　不　注　視	3
計	4

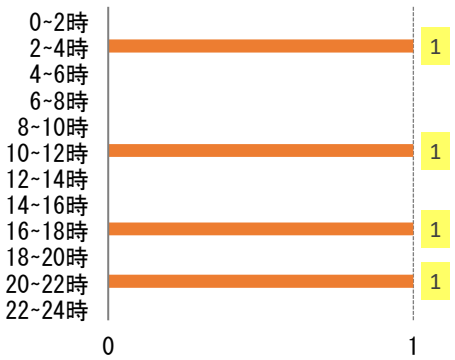
（３）月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数							1			2		1	4
死　者													
負 傷 者										2			2

（４）曜日別［件数］



（５）時間別［件数］



（６）年齢層別

区　分	当 事 者
２　０　歳　未　満	
２　０　～　２　９　歳	
３　０　～　３　９　歳	1
４　０　～　４　９　歳	
５　０　～　５　９　歳	1
６　０　～　６　４　歳	
６　５　歳　以　上	2
計	4

（７）事故類型別

区　分		件　数
車　両	追　越　等	1
車　両	単　独	3
計		4

【お酒を飲まない人】を決め、
その人が運転をして
仲間を送り届けましょう！

「 乗るなら飲むな、飲むなら乗るな！ 」

飲酒運転 は 犯罪 です

「自分は大丈夫・・・」「少しだけだから・・・」 そう思っていませんか？

飲酒運転運転の死亡事故率は 飲酒なしの約9倍（警察庁）

運転者だけではなく、車両提供者・酒類提供者・飲酒運転車両への同乗者にも罰則！

飲酒運転 を 絶対にしない・させない！！

１１　安全運転管理者等選任事業所の事故

（１）発生状況

区　　分	件　数	死　者	負傷者
令和４年	137	1	166
前　年　比	-53	1	-65

交通事故は
企業にとって
大きなダメージ!!!!

（２）違反別

区　　分	当事者
信号無視	11
優先通行妨害等	4
指定場所一時不停止等	10
歩行者妨害等	2
安全運転義務違反	88
その他	22
計	137

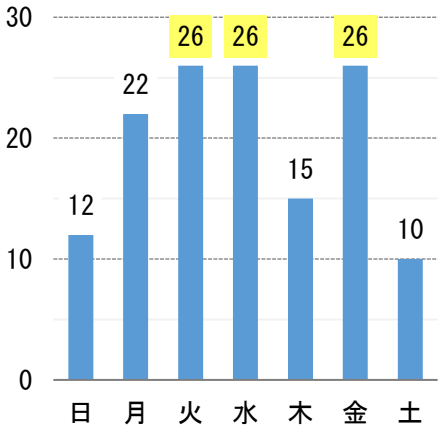
※ (2)違反別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない。

（３）月別

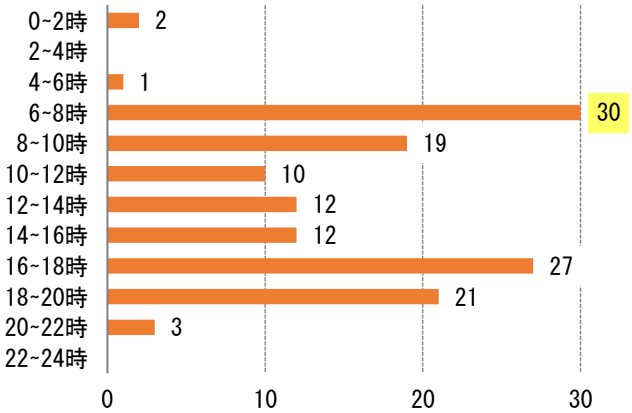
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件　数	11	6	9	10	14	13	12	8	8	16	17	13	137
死　者							1						1
負傷者	14	7	8	13	21	15	13	14	7	21	14	19	166

職場・家庭で 安全運転を
呼びかけましょう!!

（４）曜日別［件数］



（５）時間別［件数］



（６）年齢層別

区　分	第一当事者
２０歳未満	9
２０～２９歳	27
３０～３９歳	19
４０～４９歳	33
５０～５９歳	27
６０～６４歳	9
６５歳以上	13
計	137

※ (6)年齢層別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない。

（７）事故類型別

	区　分		件　数
人対車両	対背面通行中		2
	横断中	横断歩道	2
		その他	3
車両	正面衝突		2
	追突		47
	出会い頭		51
	追越等		3
	右左折時		9
	その他		13
車両単独			5
計			137

交通安全教育活動

1　交通安全協会細江地区支部

交通安全協会は、交通道徳の高揚と交通マナーの向上を図ることにより、交通事故のない明るい交通社会をつくることを目的に設立されたボランティア団体で、会員となる運転者の皆様の会費等により運営されています。

活動の一つとして、交通安全指導員による各種学校やシニアクラブ等への交通安全教室が挙げられ、このときの教材等も会費で運営されています。

悲惨な交通事故を一件でも減らすため、交通安全広報、啓発事業など各種交通安全活動を展開しています。

私たちは交通事故をなくすために このような活動をしています！

店頭や街頭での
啓発活動

小学生の通学路で
登下校の指導

交通安全体験車を
利用した交通安全講習

各種学校での
交通安全教室

あなたの会費(年間400円)で大切な命♥が守られています!

2　細江地区安全運転管理協会

安全運転管理協会は、道路交通法に基づく安全運転管理者選任事業所で組織され、経済活動・事業活動に伴う交通事故を防止し、地域・職場の交通安全に貢献することを目的にしています。

主な事業

◆交通安全広報資料の発行配付

- 「警察だより」「交通安全情報」等の配信
- 機関誌「安全運転管理しずおか」等の発行、配付
- 交通安全教育用DVD, チラシ, パンフレット のぼり旗等の購入配布, 貸出等

◆交通安全運動の参加

広報活動

- 年4回の交通安全運動の参加
- 毎月10日のゼロの日における街頭広報等

◆優良運転者などの表彰

- 優良事業所, 運転者等の表彰(推薦)事務

◆各種研修会の開催

- 事業主研修会
- 法定講習の開催通知と開催時の協力

◆交通安全教育指導
・参加体験型研修会等の開催

- セーフティドライバーコンテストの開催
- CRTを使用した体験型研修会の開催
- 若者, サポカー等体験型研修会の開催

若者研修会

街頭指導

令和5年　静岡県交通安全スローガン

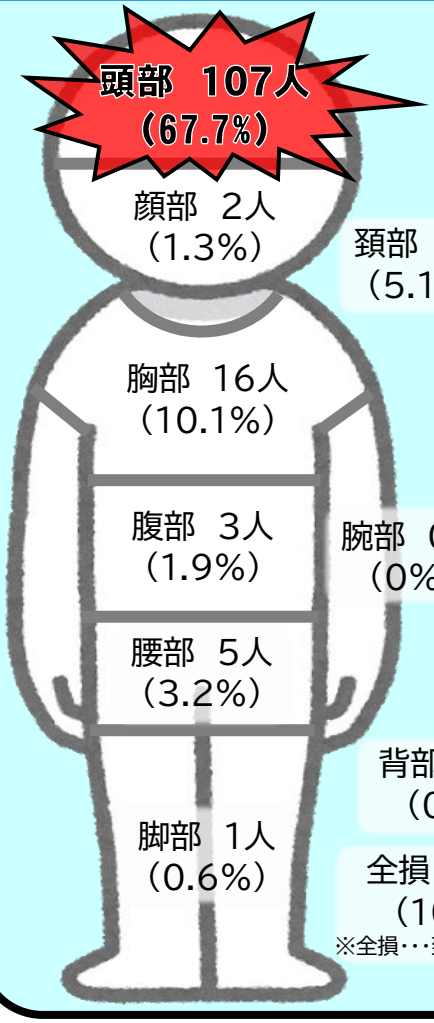
「安全を つなげて広げて　事故ゼロへ」

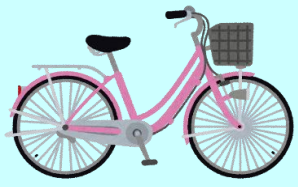
令和5年4月1日～

全ての自転車利用者 に対する 乗車用ヘルメット着用 が 努力義務化 されます!!

自転車事故死者の人身損傷部位

（過去10年〈H25～R4〉静岡県内）※窒息・溺死等10人を除く



- 自転車事故で亡くなった方の致命傷は**頭部が約7割！**
- ヘルメット非着用時の致死率は着用時と比べて**約3倍！**

命を守るため ヘルメットを 着用しましょう！